## 平成 24 年度 事務事業事後評価調書(平成 23 年度事業)

<u>整理番号</u> 5 <mark>−</mark> 49

## 1 事務事業の表示

_1	事務事業の表	示								*	<b>.</b> :	該当
事	事務事業名 雄武町民生児童委員協議会運営補助事業											
	価 者	担当課名	保健福祉課			担当係名			社会福祉	上係		
評		管理職	職名	課長山 崎 佳 之			作成者		職名	係長		
			氏名						氏名	渡部憲	_	
事	業の概要	の充実を図るため、会の運営費を補助する。       事       地方債       干F         業       その他       干F         費       一般財源       310 干F										
実	施方法	■直営		E	民間委託	ŧ		70	の他(			)
第5期総合計画(前期)			■ 3	登載事業 非登載事業			<mark>優先度</mark> B		В			
		政策	標	2 ぬくもり・雄武~保健・医療・福祉の充実~								
		基本が					進					
事	業の位置付け	単 位 が	<b>策</b>	€ 1 福祉意識の醸成								
		事務事業の種類		■自治事務				法定受託事務				
		その他計画・根拠等										
	実施年度	20年度(実績	<u>21</u> :	21年度(実績)		22年月	22年度(実績)		23年度(実績)		24年	度(見込)
事業費	国·道支出金	千日		千円			千円		千円			千円
	地方债	千月		千円			千円			千円		千円
	その他財源	千日	<del>'</del> j	千円			千円			千円		千円
,	雄武町負担額(一般財源)	53 <del>千</del> F	<del>"</del>	5	3 千円		53	千円		98 千円		53 千円
					53 千円		53 千円					

## 2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民生児童委員協議会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理 論上の成果指標)					
【抱える課題やニーズは】	高齢者を取り巻く環境が大きく変化 する中、担当地区における課題や相	運営補助金の交付					
- 7/16/	談が多様化している。	指標(指標計算式/解説)	目標値	値及び実績値			
	福祉環境が大きく変化する中、新た	① 交付実績	目標年度	平成23年度			
【どのような状態 になることを目指	な制度を住民が適切に利用できるこ とが大切であり、民生委員活動を通		目標値	98 千円			
したのか(意図)】	│ じて援助を求める住民に対し情報提 │ 供等、身近な相談者となりえる活動		実 績 値	98 千円			
	快寺、身近な柏談有となりたる店勤 を目指す。		達成度	100.0 %			
【その結果、どの		2	目標年度				
ような成果を実現	地域住民が安心して健康に生活する ことができる町づくりと地域福祉の 向上が図られる。		目標値				
したいか】 ※成果=目的			実 績 値				
<b>次</b> 成朱一日的			達成度	%			
内容(どのような手段で何を行ったか)							
①雄武町民生児 童委員協議会 の運営費補助	雄武町民生児童委員協議会の運営費を補助した。23年度にあっては民協会長が民生委員全国大会へ参加したため、参加旅費の助成として額の上積みを行った。						

• <b>*</b> ***•	TT ( 0 ) )		裏				
3 事務事業の評価(Check) (1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業							
(1) 争切争未以处3		章、既存事務事業との機能重複や					
必要	義務的なもの	員の責務は大きくなっており、	変化する中、民生委員・児童委団体の運営費を補助することの				
必要/概ね必要/ 課題あり	全部 一部	かせざるを得なく、その結果、	場合、協議会における事業も縮 町民の生活にも影響が及ぶ。				
(2)事務事業の有効	性(期待する効果が得られ	nたか)					
+ **	設定した目標値の達成						
有効	<mark>状況</mark> 【■【達成		方に対して相談、援助等を行う				
有効/概ね有効/	ほぼ達成	など、町民サービスの一因を担	っており、補助は有効である。				
課題あり	下回る						
(3)事務事業の効率	性(コストに見合った効果	が得られたか、計画上のコストを	下げる工夫をしたか)				
÷1. ÷5. 44.	判断の理由	民生旧音禿昌拉議会の活動け	担当地区世帯の見回りなどを実				
効率的	事業費抑制 人員削減	施し、生活状況の把握にも努め	ている。町からの補助金は、こ				
効率的/概ね効率			要最小限度となるよう努めてい				
的/課題あり	■その他	る。					
(4)事務事業の公平	性						
<i>\( \)</i>	判断の理由						
公平	□ <mark>受益者負担がある</mark> 受益者負担がない	民生児童委員の活動は全国的な	活動であり、運営費の補助につ				
公平/概ね公平/	受益が一部に偏る	いては公平と考える。					
公平でない	■その他						
4 総合評価【A~D】 A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等							
自己評価	西(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)				
	Α						
民生児童委員は行政 ており、民生児童委 営されるためにも必	と住民のパイプ役も担っ 員協議会活動が円滑に運 要性が高い。						
今後の展開方向 (Action)	in the second se						
継続/	<b>現状維持</b>						
11 - 17 07							
	協議会活動の円滑な運営 の生活及び福祉の向上の が適当である。						
*展開方向の区分 〇 継続/現状組	<b>持又は拡充又は縮小又は</b>	- 統合又は内容の見直し・変更 ○	<b></b>				

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)